

循環器内科 初期研修プログラム

【研修期間】 1～2か月

【研修責任者】 河本 章

【一般目標】 臨床医としての態度、必要な診療に関する知識、技術を養うとともに、循環器系疾患の基本病態、診療のアプローチ法、治療法について学ぶ。

【行動目標】

1. 臨床医としての態度、基本的知識、診察法、診察技術の習得
2. 循環器内科医としての基本的知識、診察法、診察技術の習得
3. 循環器内科に関する基礎医学（解剖、病理）の理解
4. 循環器内科の基本的疾患（病態、治療法）の理解
5. 循環器内科の基本的検査法の手技と読影の習得
6. 循環器内科の基本的処置法の習得

【方略】

1. 外来診察
 - (1) 指導医の診察、検査指示、説明、治療計画、治療法を見学する。
 - (2) 問診（既往歴、家族歴、危険因子および現病歴等）を正確に聴取し、診療録に記録する。
 - (3) バイタルサイン、理学的所見などの基本的診察をおこなう。
 - (4) 必要な検査（心電図、レントゲン、血液尿検査、心エコー、ホルター心電図、CT、MR等）の指示を出す。
2. 入院診療
 - (1) 主治医である指導医とともに、担当医として患者を受け持つ。
 - (2) 指導医のもと、病態把握のために必要な検査計画の立て方、及びその実施を体験する。
 - (3) 指導医から検査結果の解釈を学び、病態を把握する。
 - (4) 治療計画、インフォームドコンセントおよび実際の治療を体験する。
 - (5) 上級医師の指導の下、中心静脈カテーテル挿入などの手技を行い、得られるモニタリングデータ所見の解釈、治療への応用を学ぶ。
 - (6) 重症心疾患患者に対するカテコラミン製剤や抗心不全薬などの使用、人工呼吸器、IABPやPCPSなどの適応と実際を経験する。
3. 間欠的検査、処置、治療
 - (1) 冠動脈造影、下肢動脈造影、左室造影などの読影を学ぶ。
 - (2) 心臓カテーテル検査、インターベンション、電気生理学検査、カテーテルアブレーション、ペースメーカー植え込み術に助手として立ち会う。

4. 救急診療

- (1) 救急患者が来院した場合に、上級医師とともに初期診療にあたる。
- (2) 重症度を速やかに的確に把握し、緊急の心臓カテーテル検査や一時ペースメーカ挿入などの必要性を判断する。
- (3) 入院の必要性を判断できる能力を養う。
- (4) 心原性ショックなどきわめて重篤な状況での初期治療の実験を体験する。

5. カンファレンスなど

- (1) カンファレンスに参加する。
- (2) 抄読会に参加し、自らも抄読を行う。

【週刊スケジュール】

月	火	水	木	金
午前・午後 (検査)	心臓CT 心筋シンチ 心エコー検査 カテーテル検査・治療	心臓CT 心筋シンチ 心エコー検査 カテーテル検査・治療	心臓CT 心筋シンチ 心エコー検査 カテーテル検査・治療 カテーテルアブレーション	心臓CT 心筋シンチ 心エコー検査 カテーテル検査・治療
その他	外来診療	外来診療 エコー・カンファレンス	循環器カンファレンス 救急外来診療	外来診療 救急外来診療

【研修評価】

研修の終了時に部長やスタッフが研修医の評価を行う
研修医も自己評価、研修診療科と指導医の評価を行う